

治療審査委員会申請書類

患者ID : 0

患者氏名	0	生年月日	明治33年1月0日	年齢	0	性別	0		
診療科	0	区分	☐ 階病棟 ☐ 外来	申請医師名					
診断名				Stage		Performance Status			
告知内容									
治療方法	プロトコール名	GC療法(CDDP + GEM)ショートハイドレーション				告知Grade			
投与計画	身長	0	cm	体重	0	kg	体表面積	0	m ²
	血清クレアチニン		ml/dl	Cockcroft-Gault 推算Ccr		性別無し	ml/min	※女性は0.85を掛けています	
	ゲムシタビン	0	mg	(標準量:1000mg/m ²)	d1、d8				
	シスプラチン	0	mg	(標準量:25mg/m ²)	d1、d8				
	インターバル3週								
	Day1								
	① 生食 500ml + 硫酸Mg補正液 0.5A(10ml) 500ml/hr(60分)								
	② 生食 50ml + フロセミド20mg注 1A 250ml/hr								
	③ ハロ/セロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + デキサート1.65mg<3A> [4.95mg] 120ml/hr 30分かけて投与								
	④ 生食 100ml 本体ルートに使用								
⑤ シスプラチン 0 mg + 生食 250ml 250ml/hr									
⑥ 生食 500ml 500ml/hr (60分で)									
⑦ ゲムシタビン 0 mg + 生食 100ml 200ml/hr(30分)									
内服 デカドロン錠4mgは省略 (症例に応じ追加;1回1錠 1日1回朝食後 2-3日目に内服)									
シスプラチン 腎機能障害時の用量調節									
Ccr(ml/min)		46~60	31~45	30未満					
減量率		75%	50%	禁忌					
参考)がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン、UP TO DATE									
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日									
併用薬の確認									
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()								
予測される副作用	骨髄抑制、感染症、末梢神経障害、麻痺、ショック、アナフィラキシー、間質性肺疾患 心筋梗塞、うっ血性心不全、脳卒中、肺塞栓、難聴、耳鳴、消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血 重篤な腸炎、腸管閉塞、腸管麻痺、肝機能障害、黄疸、膵炎、急性腎障害、中毒性表皮壊死融解症 候群、皮膚障害、白質脳症								
備考	ゲムシタビン 60分以上の点滴静注では骨髄毒性などの副作用が増強する								
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可								

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日